

結果概要

1. 人口総数

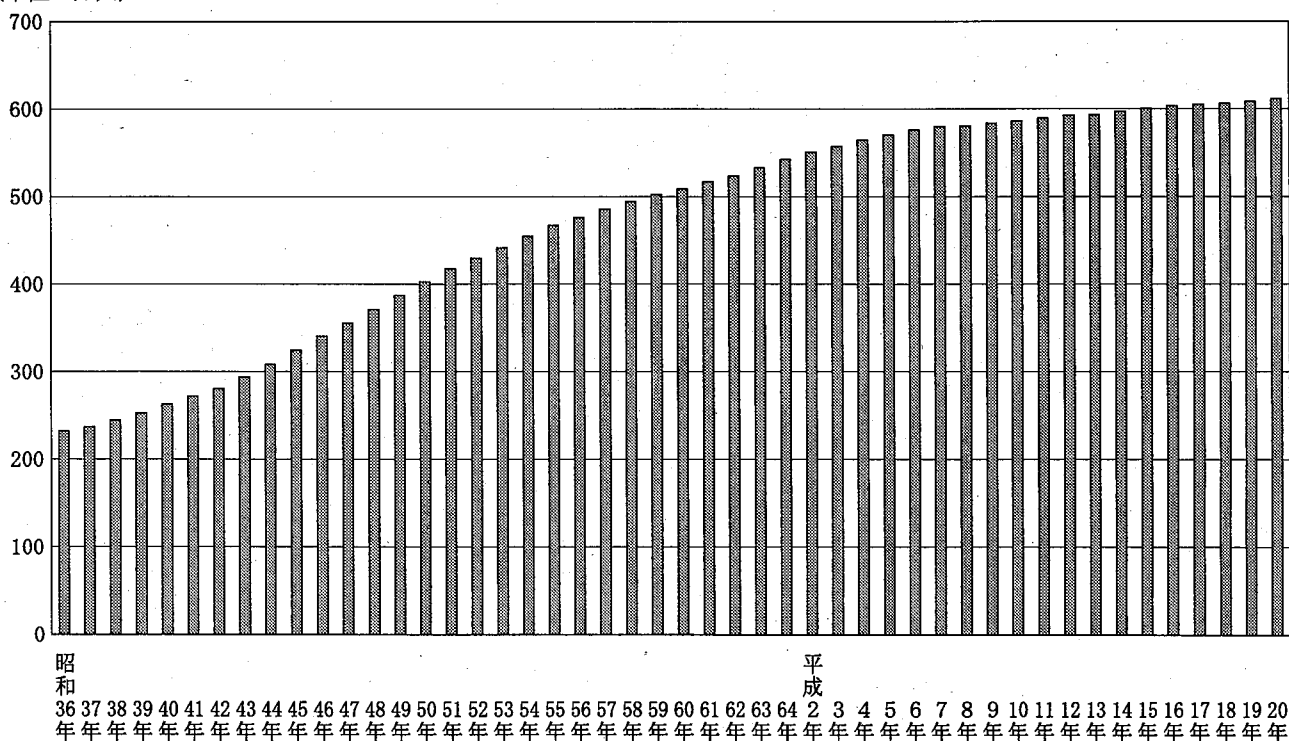
県人口611万人

平成20年1月1日現在の本県の人口は6,116,328人で、前年人口の6,083,156人に比べ33,172人、率にして0.55%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。

平成17年国勢調査速報によると、本県の人口は、6,056,462人で全国第6位となっている。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）

(単位：万人)



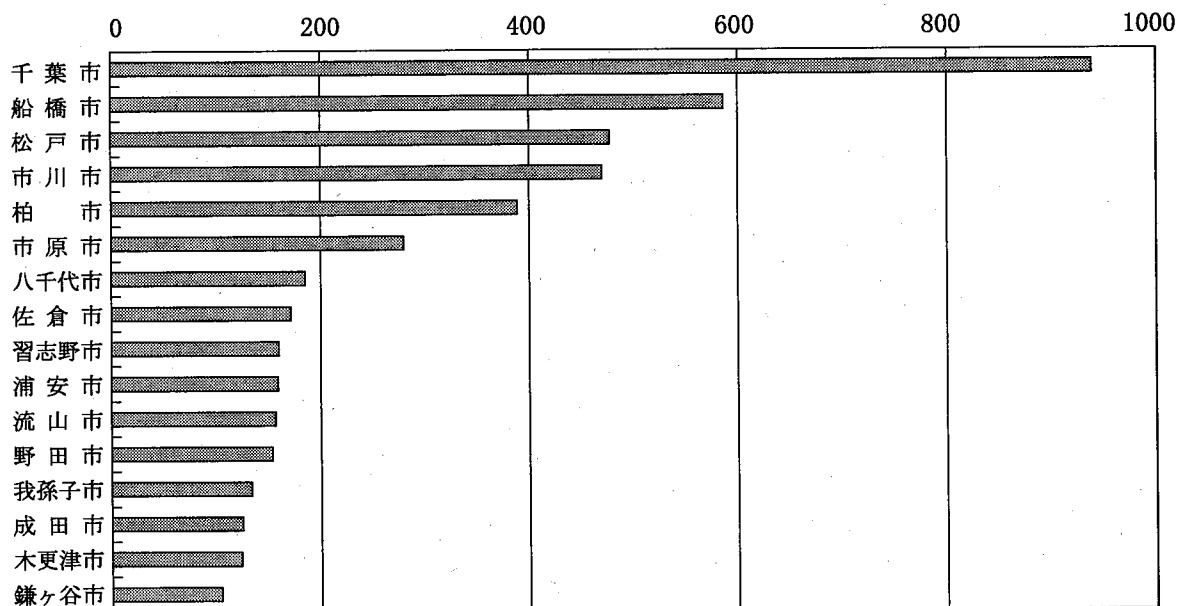
千葉市人口93万8千人
県人口の15.3%を占める

平成20年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（36市）のうち10万人以上の市は16市あり、そのうち千葉市が938,695人（県人口に占める割合15.3%）で最も多く、郡部人口301,028人（同4.9%）の約3倍となっている。以下、船橋市586,762人（同9.6%）、松戸市477,603人（同7.8%）、市川市470,149人（同7.7%）、柏市389,036人（同6.4%）の順で続き、この5市で県人口の46.8%を占めている。

郡部（17町3村）では、大網白里町が49,869人（同0.8%）で最も多く、以下、横芝光町25,442人（同0.4%）、栄町23,575人（同0.4%）、酒々井町21,431人（同0.4%）九十九里町18,388人（同0.3%）の順となっている。

図2 10万人以上の市

(単位:千人)



2. 人口増加

人口増加数3万3千人
増加率0.55%

平成19年中の本県の人口増加は、増加数33,172人、増加率0.55%で、前年（22,340人、0.37%）より増加した。

近年の人口増加の推移を増加率でみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成19年には0.55%となった。

自然増加数は増加

平成19年中の自然増加は、増加数7,053人（出生52,922人、死亡45,869人）で、前年の7,492人（出生52,492人、死亡45,000人）に比べ出生が430人増加し、死亡が869人増加して自然増加数は439人の減少となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成19年は0.12%となった。

社会増加数は増加

平成19年中の社会増加は、増加数26,119人（転入203,438人、転出177,789人、県内の移動-550人、その他1,020人）で、前年の14,848人（転入197,865人、転出183,020人、県内の移動-867人、その他870人）に比べ転入が5,573人増加し、転出が5,231人減少し、県内の移動が317人増加し、その他が150人増加して、社会増加数は前年に比べ11,271人の増加となった。近年の社会増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合）でみると、昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成19年には0.43%となった。

図3 人口増加率の推移（昭和36年～平成19年）

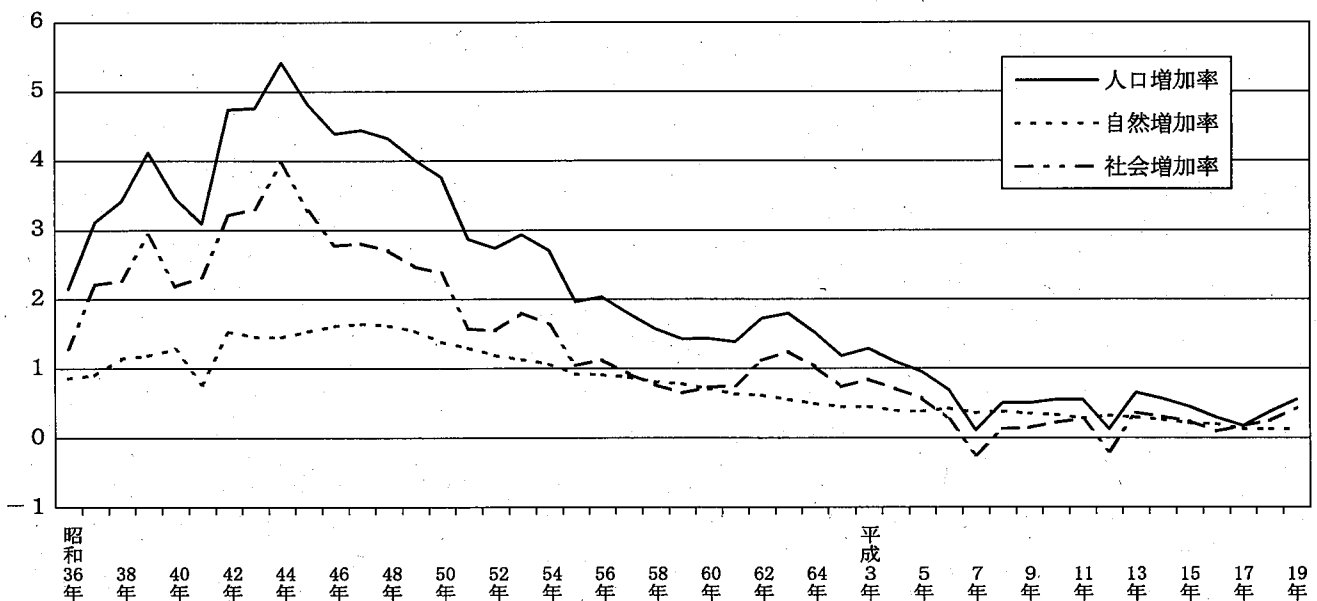


表1 月別動態別人口増加数（平成19年中）

（単位：人）

	人口増加	自 然 増 加			社 会 増 加				
		増加数	出 生	死 亡	増加数	転 入	転 出	県内の移動	その他
1 月 中	-120	214	4,735	4,521	-334	11,211	11,256	-190	-99
2 月 中	-263	209	3,881	3,672	-472	12,073	12,162	-292	-91
3 月 中	1,376	185	4,298	4,113	1,191	36,791	34,107	-1,561	68
4 月 中	12,625	354	3,961	3,607	12,271	32,027	21,424	1,409	259
5 月 中	3,903	823	4,728	3,905	3,080	15,839	13,101	140	202
6 月 中	2,215	979	4,312	3,333	1,236	12,882	11,729	-29	112
7 月 中	2,035	888	4,496	3,608	1,147	14,616	13,690	-11	232
8 月 中	2,665	1,020	4,638	3,618	1,645	15,040	13,675	124	156
9 月 中	1,217	767	4,010	3,243	450	12,635	11,701	-657	173
10 月 中	4,738	915	4,946	4,031	3,823	15,982	12,757	474	124
11 月 中	1,828	333	4,590	4,257	1,495	12,327	10,819	-112	99
12 月 中	953	366	4,327	3,961	587	12,015	11,368	155	-215
計	33,172	7,053	52,922	45,869	26,119	203,438	177,789	-550	1,020

注）その他とは、職権による記載・消除等をいう。

25市町村で人口増加
最高増加率は白井市4.62%

平成19年中の人口増減を市町村別にみると、25市町村で人口が増加し、31市町村で減少した。増加数では、船橋市10,732人（県人口増加数に占める割合32.3%）で最も多く、以下、千葉市が7,092人（同21.4%）、柏市3,897人（同11.7%）白井市2,522人（同7.6%）八千代市2,076人（同5.4%）と続いている。逆に、減少数では銚子市が1,214人で最も多く、以下、香取市1,144人、君津市694人、富津市603人、山武市573人の順となっている。

また、人口増加率では白井市が4.62%で最も多く、以下、本埜村4.13%、印旛村3.08%、船橋市1.86%、成田市1.36%、と続いている。逆に減少率では長南町が1.79%で最も高く、以下、銚子市1.65%、鋸南町1.59%、栄町1.57%、大多喜町1.56%の順となっている。

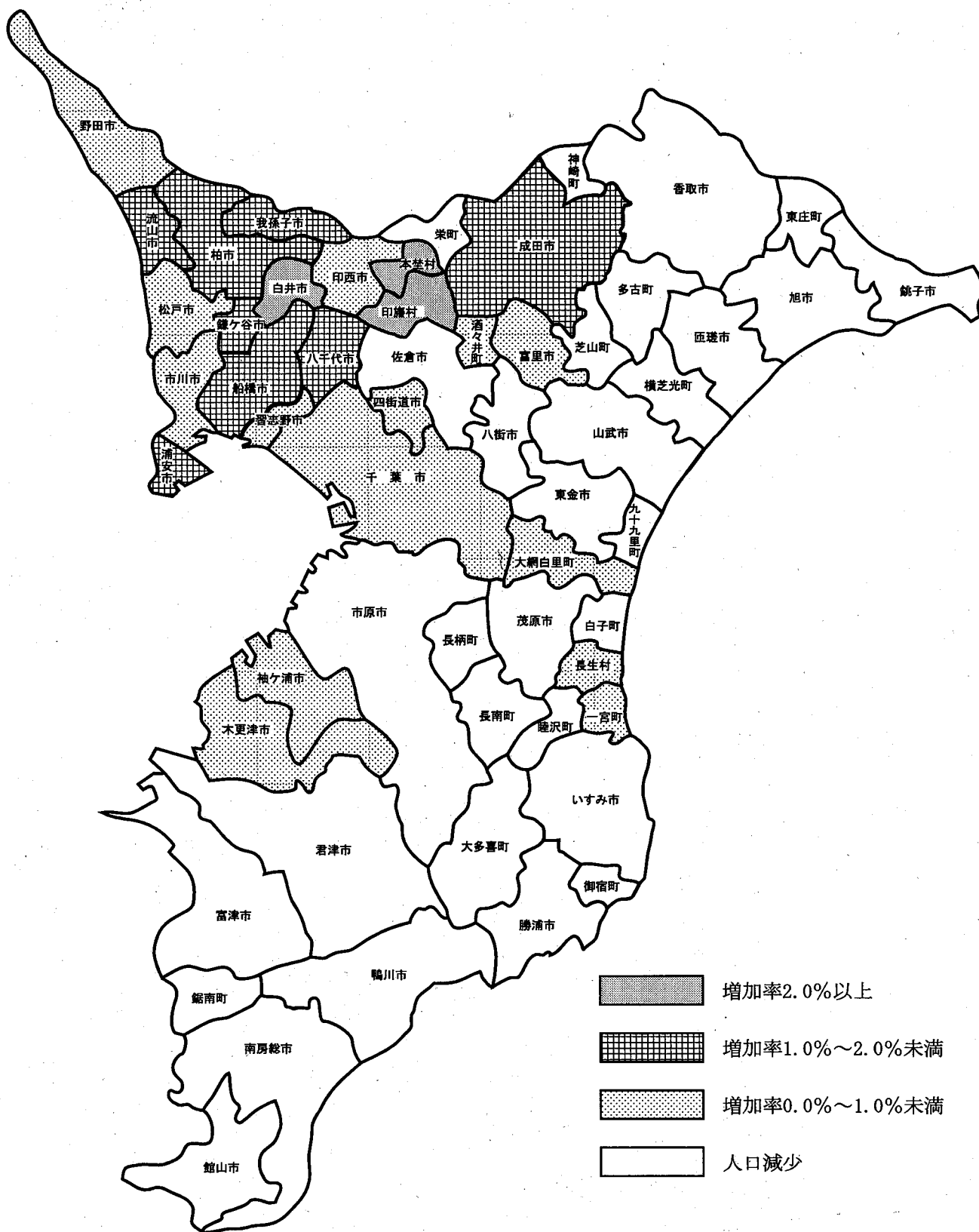
表2 人口増減数上位5市町村（平成15年～平成19年）

順位	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数	市町村	増加数
1	千葉市	7,611 ^人	千葉市	5,244 ^人	千葉市	6,795 ^人	千葉市	5,714 ^人	船橋市	10,732 ^人
2	浦安市	6,050	浦安市	4,022	浦安市	3,925	船橋市	5,074	千葉市	7,092
3	船橋市	4,471	船橋市	3,355	船橋市	2,165	柏市	3,683	柏市	3,897
4	八千代市	2,181	八千代市	1,881	成田市	1,466	松戸市	2,845	白井市	2,522
5	松戸市	2,152	習志野市	1,447	八千代市	1,360	市川市	2,260	八千代市	2,076
順位	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数	市町村	減少数
1	銚子市	960 ^人	銚子市	803 ^人	松戸市	1,482 ^人	銚子市	1,194 ^人	銚子市	1,214 ^人
2	富津市	549	富津市	541	佐倉市	1,308	香取市	946	香取市	1,144
3	野田市	504	君津市	413	木更津市	1,097	君津市	710	君津市	694
4	佐原市	358	佐原市	402	茂原市	876	市原市	624	富津市	603
5	勝浦市	343	勝浦市	303	九十九里町	806	南房総市	574	山武市	573

表3 人口増減率上位5市町村（平成15年～平成19年）

順位	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率
1	浦安市	4.27%	浦安市	2.72%	本埜村	2.80%	白井市	2.51%	白井市	4.62%
2	白井市	2.63	酒々井町	2.26	浦安市	2.59	本埜村	2.25	本埜村	4.13
3	酒々井町	2.20	白井市	1.19	大網白里町	1.71	印旛村	1.38	印旛村	3.08
4	印旛村	1.74	八千代市	1.06	成田市	1.47	成田市	1.31	船橋市	1.86
5	長生村	1.50	成田市	1.01	長柄町	1.39	流山市	1.18	成田市	1.36
順位	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率
1	長南町	2.07%	干潟町	1.52%	九十九里町	4.08%	睦沢町	2.20%	長南町	1.79%
2	天津小湊町	2.05	大多喜町	1.41	白浜町	2.84	鋸南町	2.07	銚子市	1.65
3	千倉町	1.70	勝浦市	1.34	下総町	2.43	勝浦市	1.91	鋸南町	1.59
4	鋸南町	1.65	千倉町	1.31	山武町	2.33	九十九里町	1.76	栄町	1.57
5	勝浦市	1.49	夷隅町	1.28	丸山町	2.05	銚子市	1.60	大多喜町	1.56

図4 市町村別人口増加率（平成19年1月～12月）



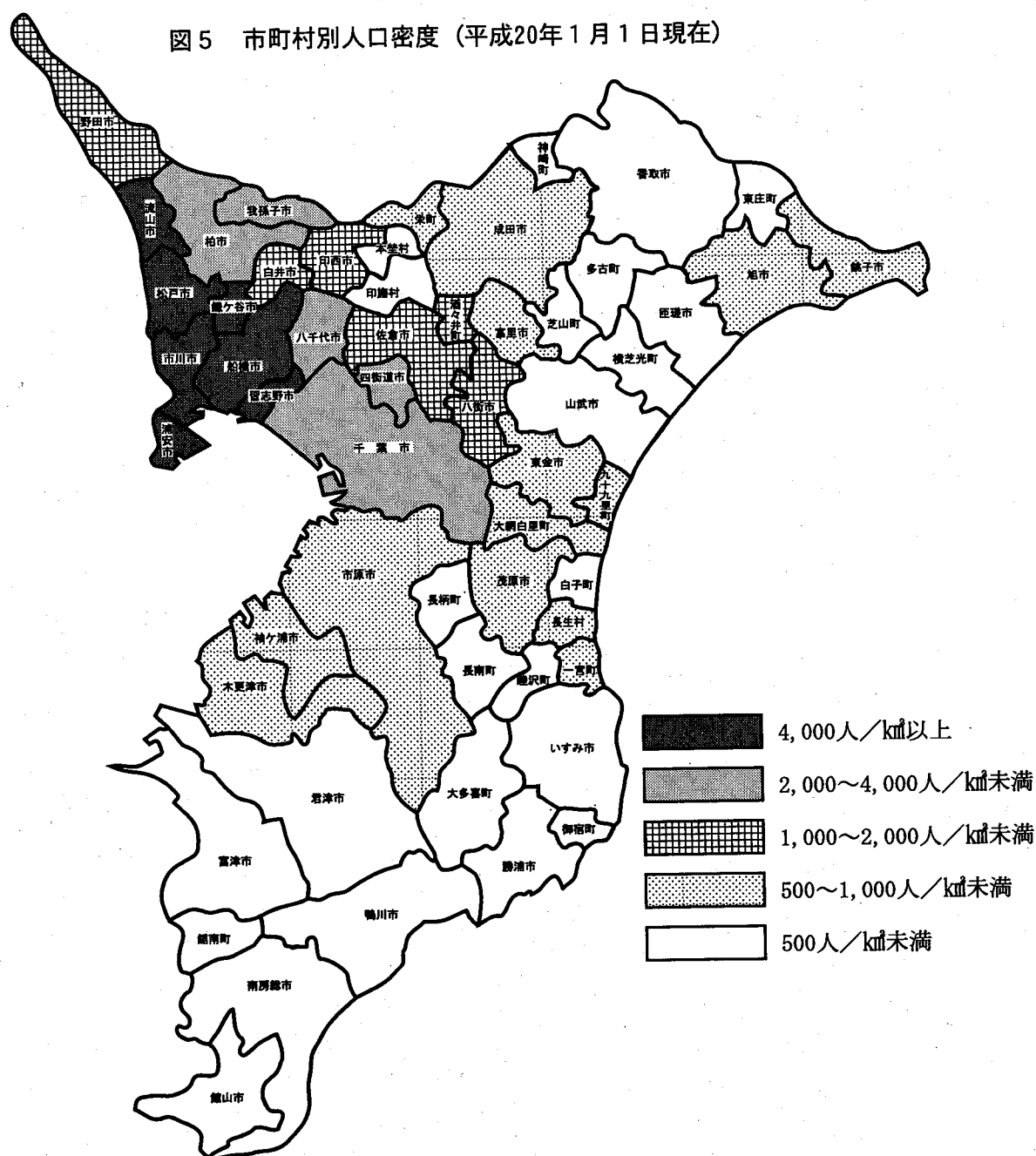
3. 人口密度

県人口密度1,186.1人/km²
市町村別人口密度は浦安市
が9,214.1人/km²で最高

本県の人口密度は、平成20年1月1日現在1,186.1人/km²で、前年の人口密度（1,179.7人/km²）に比べ6.4人/km²高くなった。市郡別にみると、市部1,359.6人/km²、郡部342.3人/km²で、市部は郡部の約4倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が9,214.1人/km²で最も高く、以下、市川市8,182.2人/km²、松戸市7,787.4人/km²、習志野市7,611.1人/km²、船橋市6,856.3人/km²と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町86.0人/km²、長南町145.0人/km²、長柄町177.3人/km²、鴨川市187.1人/km²、南房総市189.2人/km²、の順となっている。

図5 市町村別人口密度（平成20年1月1日現在）



4. 人口性比

平成20年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子3,055,880人、女子3,060,448人で男子が女子に比べ4,568人少なく、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、99.9で前年（99.9）と同率となった。

人口性比を市町村別にみると、市川市の105.1が最も高く、以下、市原市104.9、富里市104.4、勝浦市103.8、浦安市102.7、逆に最も低いのは南房総市の89.0で、以下、鴨川市89.1、御宿町89.5、鋸南町89.9、銚子市90.8となっている。

100以上の市町村は15市町で、100未満の市町村は41市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在でみると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を越え、平成6年には、過去最高の102.2となった。その後は徐々に下降し、平成20年には再び100を下回る99.9となった。

図6 人口性比（昭和36年～平成20年、各年1月1日現在）



5. 世 帯 数

県世帯数241万世帯
1世帯当たり人員は
2.53人

平成20年1月1日現在の本県の世帯数は2,414,750世帯で、前年の世帯数2,368,835世帯に比べて45,915世帯増加し、増加率では

1.94%となり、人口増加率0.55%よりも高い率となっている。

1世帯当たり人員は2.53人で、前年の2.57人に比べ0.04人減少した。また、1世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の3.43人が最も多く、以下、長南町の3.30人、芝山町3.30人、本埜村3.29人、印旛村3.26人と続き、逆に最も少ないのは市川市の2.20人で、以下、浦安市2.28人、松戸市2.35人、勝浦市2.37人、船橋市2.38人の順となっている。

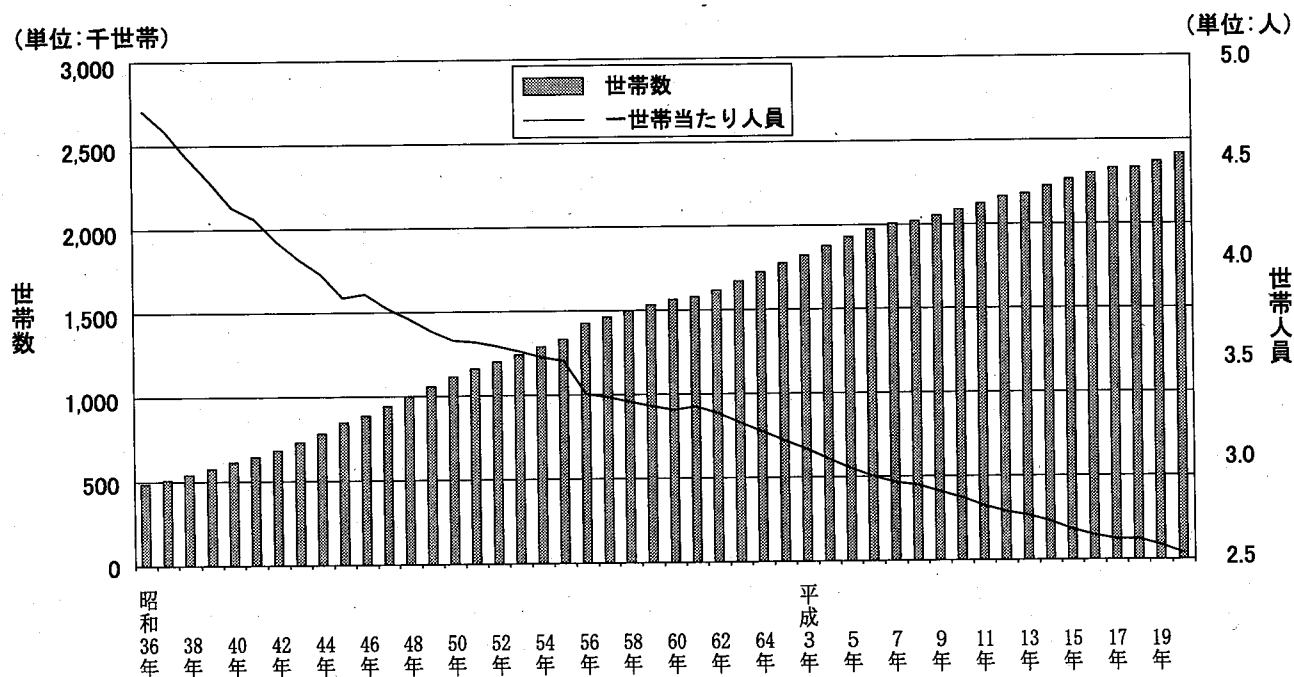
県の1世帯当たり人員より少ないのは11市町で、多いのは45市町村となっている。

表4 月別世帯増加数（平成19年中）

	増加数	転 入	転 出	その他
1 月中	467	6,254	5,773	-14
2 月中	970	6,929	6,483	524
3 月中	8,697	21,279	14,363	1,781
4 月中	13,251	19,592	9,277	2,936
5 月中	4,539	10,151	6,721	1,109
6 月中	2,497	7,358	5,896	1,035
7 月中	2,237	8,041	6,874	1,070
8 月中	2,359	8,245	6,848	962
9 月中	1,901	7,425	6,108	584
10 月中	3,469	8,940	6,532	1,061
11 月中	2,029	7,142	5,570	457
12 月中	3,499	6,358	5,794	2,935
計	45,915	117,714	86,239	14,440

注）その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図7 世帯数及び世帯人員数の推移（各年1月1日現在）



6. 県外との人口移動

人口移動総数38万人
移動率6.25%

平成19年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、381,227人で前年の380,885人に比べ342人増加し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.25%と、前年の6.27%に比べて0.02ポイント低下した。

2万5千人の転入超過
転入超過率0.42%

平成19年中の県外からの転入者数は203,438人（前年197,865人）、転出者数177,789人（同183,020人）で、転入超過数25,649人（同14,845人）となり、転入超過数は10,804人増加した。

また、平成19年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.42%と、前年の0.42%に比べて0.18ポイント増加した。なお、県外との関係は44の都道府県から転入超過となり、2都道府県へは転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成2年～平成19年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成2	432,300人	7.79%	43,116人	0.78%	237,708人	194,592人	5,546,610人
3	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
4	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成15年～平成19年）

順位	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	大阪府	1,648人	大阪府	1,543人	北海道	1,570人	北海道	1,810人	北海道	2,415人
2	茨城県	1,239	北海道	1,058	大阪府	1,255	大阪府	1,574	埼玉県	2,025
3	北海道	1,033	福岡県	787	埼玉県	1,222	宮城県	1,302	大阪府	1,623
4	兵庫県	785	兵庫県	758	茨城県	1,088	埼玉県	1,294	福岡県	1,479
5	福岡県	730	宮城県	750	宮城県	998	茨城県	888	宮城県	1,311
順位	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	2,157人	東京都	7,991人	東京都	8,408人	東京都	6,323人	東京都	1,545人
2	神奈川県	859	神奈川県	1,708	神奈川県	1,661	神奈川県	730	神奈川県	442
3	沖縄県	36	栃木県	103	愛知県	304				
4	佐賀県	19			島根県	16				
5					山梨県	1				